

学籍番号

氏名

---

バッチと AWK の連携 No.3 の課題

課題 1. カレントディレクトリに (1) d1 というディレクトリを作成し、(2) そのディレクトリの中に d001.dat ~ d300.dat の空ファイルを作る、という作業を、子バッチファイルを作らずに `system()` のみで行う AWK スクリプトを書け。

課題 2. 上の AWK スクリプトを、資料の (B) のように、子バッチファイルを作って、それを `system()` で実行する AWK スクリプトに書き換えよ。

課題 3. カレントディレクトリに f0.txt, f1.txt, ..., f255.txt の 256 個のファイルがあるとき、これらをそれぞれ、d00.txt, d01.txt, ..., dFF.txt のように、f を d に、番号を 2 桁の 16 進数 (大文字) に変えたファイル名に変更するような子バッチファイルを出力する AWK スクリプトを書け。なお、その子バッチファイルは、資料の (C) のように実行するものとする。

学籍番号

氏名

バッチと AWK の連携 No.3 の課題

課題 4. 20 日前の日付文字列 (2016-07-16 のような書式) を環境変数 `d20b` に保存するバッチファイル `d20b.bat` と、その中で使用する AWK スクリプト `d20b.awk` を書け (枠を適当に区切って)。

課題 5. 各行に 2 列の実数値がならばファイル `data1` があるとき、その 1 列目の合計値を環境変数 `sx1` に、2 列目の合計値を環境変数 `sx2` に設定するような子バッチファイルを出力する AWK スクリプト `setsum.awk` を書け。なお、これは、  
`gawk -f setsum.awk data1 > tmp1.bat`  
と `tmp1.bat` を作成し、それを資料の (C) のように実行するものとする。

課題 6. 各行にひとつの URL (Web アドレス) が書かれたファイル `urllist.txt` に対し、その中からランダムに 1 つの URL を選んで、その Web ページをブラウザで立ち上げるような AWK スクリプト `urlopen.awk` を書け。なお、これは、  
`Z:¥> gawk -f urlopen.awk urllist.txt`  
と実行することとし、`urllist.txt` の行数は知らないものとする。